
ちらちらと。

しらゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひらひらと。

【著者名】

Z5059M

【あらすじ】

忘れられない人との思い出がある、いおり。

毎日、その人の事を考え、苦しみ、悲しむ。”雪”を見ながら。

そんな時、ある所で”雪”を眺めていたいおりの田の前に、同じようく悲しそうな瞳で雪を見つめている男に出会って…?

切ない想い

ひらひらひら、舞つ雪。

それは小さく、白く、冷たい。

私は、その雪を見るたびに、あの人のことを思い出す。

忘れないことはならないのに…。

早く。

記憶の中からも、心の中からも、消しきらなくてはならないのに

…。

でも、なかなか消えない。

忘れられない。

どうしても。

忘れようとしても、無理。
すぐ思い出す。

だから、舞つ雪を見ながら、私は願う。

…どうか、幸せになつてください。…
あの人と、幸せになつてください。…

その願いは私の心にとつては痛い。

ズキズキと痛む心。

想い。

これは、”幸せ”をちやんと願えてない証拠。

この切ない想い。

それを治すには…

どうすればいいのだろうか。

想いの行く先

こんな私の想いは、どこへ行くのか…？

こんな、醜い醜い私の想いはどこに行くのか…

自分でも、分からぬ。

本当に。

あの人は私のそばにいなはずなのに、近くにいると錯覚してゐるから。

何のために自分の幸せより相手の幸せをとつたのだろうか。

本当に、自分の気持ちが分からぬ。

多分、もしもあの人私が私の前に現れて。

私の姿を見たら。

きつと、幻滅するでしょう。

近づきたくなくなるでしょう。

哀れな私に。

……情けないマイナス思考。

悲しくなる。

もう、考えるのやめた。

力チ…。

『今日のコースです…』

特にする事もないからテレビをつけた。

テレビでも観て、気を紛らわせよう。

『……で、……が発生しました』

『……はい。嬉しいニュースですね。そうなんですか？ 私もです。
……次は天気予報です』

今私の目にはアナウンサーの人たちのちょっとした会話や言葉、
笑顔がなんだか嘘臭く見えてしまう。

でも、最後の”天気”という言葉がやけにはつきりと耳に残った。

明日の天気は…

観ようと思ったが、アナウンサーの声を聞きたくないのでゆっくり
無音に設定した。

……

チラッと画面に目を向けた。

…。

その時には既に遅く、週間予報に切り替わっていた。
自分の地域の所を探す。

そこには太陽のマーク。

つてことは…。

明日は…晴れ、ね…。

なんだか悲しくなる。

……でも、空の様子を絶対に予測できるものではない。

だから、雪は降る可能性はないわけではない…。

かすかに期待をよせた。

なぜ、諦められないのだろう。

私は思ったより相当ひねくれていて、しつこじょうだ。

これじゃ、あの人の幸せもきちんと願えないはずだ。

そう考えていた私の心は、行く先を迷つてこるのである。

”自分”が分からなくなつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5059m/>

ちらちらと。

2010年10月15日23時26分発行